

# くまぐまがより



令和4年10月27日 第339号

## 現代版「日常」の過ごし方

指導課長 高瀬 睦子

早いもので、今年度も半分以上が過ぎました。年々、月日の流れが速くなっているように感じるのは私だけでしょうか（単に年齢によるものかもしれません）。

思えば、子どもの頃は、1年がゆつくりと過ぎ、春夏秋冬の移り変わりを、季節の行事や遊び、また、食べ物や気候等から肌で感じ取り、「季節感」を味わっていたように思います。

春には、桜の花びら集めやシロツメクサの冠作り、夏は蝉の声を聞きながら駄菓子屋でのアイスキャンディー、秋は、まつぼっくりや紅葉した葉っぱ拾い、赤トンボつかみ、冬は、雪合戦やかまくら作り、硬雪渡り（かたゆきわたり：気温が低い日に硬くなった雪上をこぼらずに歩くことを友達とこのように呼んでいました）等々、それぞれの季節の過ごしを楽しんでいたように思います。

私的に、大人になってから（特にここ数年）は、季節を楽しむのは、主に「食べ物」「体を動かすのが億劫になってきたこと」だけでなく、現代の「異常気象」も関係しているのではないのでしょうか。「豪雨や台風増加」、「ドカ雪の増加」等により、春と秋を満喫する間もなく、「長い夏や冬」がやってきているように思います。「〇十年ぶりの…」や「記録的な…」というフレーズが多くなり、もはや「異常気象」ではなく、現代の「通常気象」になりつつあるよ

うに思います。

さて、新型コロナウィルス感染症への対策について、マスク生活に慣れないまま、2年半以上が経ちました。当初は、少し我慢すれば、過ぎ去っていくものだと思え、このような長期間に及ぶとは思えもしませんでした。次々と新しい型が出現し、猛威を振るっており、コロナ予防対策についても、もはや私たちの生活の「日常」になってきています。

学園の子どもたちやご家族、シヨートステイを利用しておられる方々には、行事の延期や縮小、交流の制限、シヨートステイの受け入れ制限等にご理解をいただき、大変感謝すると共に、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

今後、感染状況やワクチンの改善、特效薬の開発、スピーディな検査体制の整備等の状況を見ながら、必要に応じて関係機関等にも相談し、学園を利用しておられる子どもたち全員が、健康に安心して過ごせるよう取り組んでいきたいと思えます。

このような現代の「日常」を生き抜いていくことは、なかなか大変ではありますが、行事に加えて、日常の活動での触れ合いを通し、例えば、季節を探しに散歩に出かけた中で、いっしょに楽しい発見を共有する等、子どもたちの気付きや発想を大切にしながら、「楽しい思い出」を1つでも増やせるよう支援していきたいと思っています。

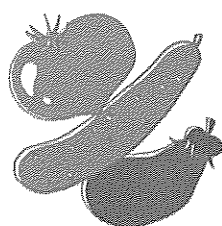
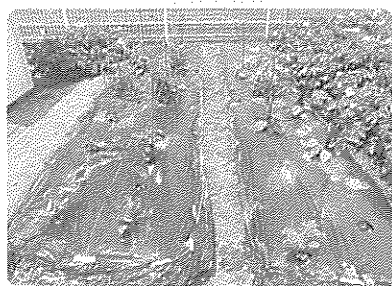
## 黒部学園農場

係長 坂田 毅 治

学園の児童遊園横の小さな畑で、今年はジャガイモ・サツマイモ・トマト・キュウリ・枝豆・オクラ・落花生・ピーマンと多くの種類の野菜を植えました。

あすなるの児童が中心となって畑の水やりをしてくれました。25本ものキュウリが収穫された日もあり、日によっては食べきれないくらい大収穫の日もありました。6月に収穫したじゃがいもは栄養士や調理員の方の協力もいただきながら、ポテトサラダや肉じゃがで味わったり、毎日たくさん収穫できたきゅうりは飽きないよう自分好みの味を見つけるのを楽しむなど美味しさの探求は手抜きなしで頑張っています。

児童達には野菜作りを通して、野菜に関心を持ち、食べること・育てることの喜びを感じてもらえればと考えています。チラシの野菜の値段などを参考に収穫された野菜でどれくらい収入が得られるかを考えるなど働く意欲にもつながられるよう、楽しく時には真面目にこれからも取り組んでいきたいと思えます。



# 新型コロナウイルス対応について

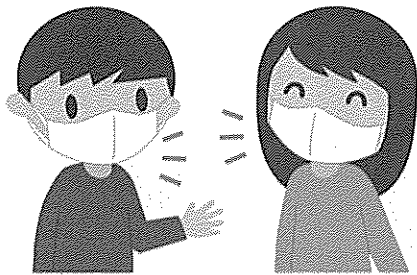
保健師 澤井安里

新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続け、7～8月は富山県内でも感染者が毎日1000人を超える人数が確認されるなど、依然として猛威をふるい続けています。学園職員は児童に感染させないために、しかし、なるべく児童が楽しく普段通りの生活を過ごすためにはどうしたらよいかを日々話し合いながら、感染症予防の対策を講じています。

学園では、新型コロナウイルスのワクチン接種を進めており、5～6月に5～11歳の児童が2回目、12歳以上の児童が3回目のワクチン接種を実施いたしました。数人に発熱や接種部位の痛みなどがありました。医師の指示をもらいながら対応しています。帰省や面会に関しても、保護者や地域の皆様には健康チェック表の記載、検温など、感染症予

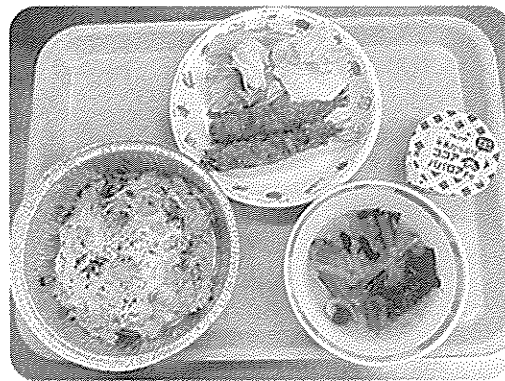
防の対応にご協力いただき、本当にありがとうございます。児童たちの健やかな生活を守るため、引き続きご協力のほど、よろしくお願いたします。

児童たちは長期にわたる様々な制約のなか、できる行事や活動に精一杯取り組んでいます。私たちも気を引き締めて、この局面を乗り切るため努力していきたいと思っております。



# リクエスト食の実施について

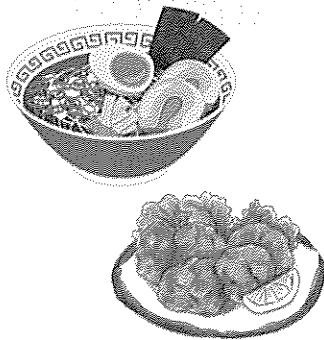
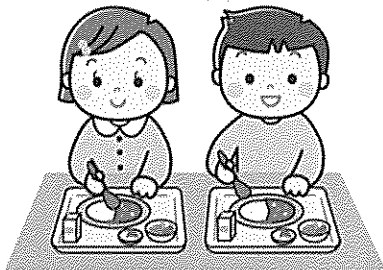
主任 長森絵衣

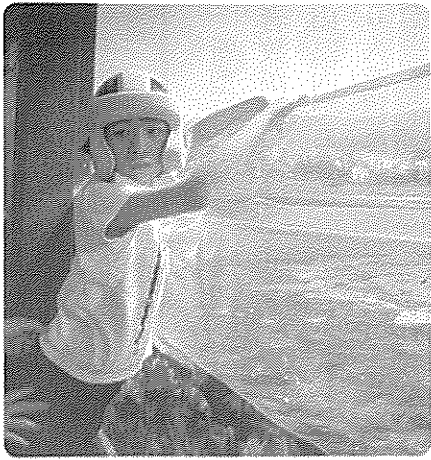


ある日のリクエスト食

黒部学園では平成30年4月より児童が食べたいメニューを事前に個々に聞き、誕生日月に提供する「リクエスト食」を実施しています。自分の食べたいメニューをたくさん伝えてくれる児童もあり、楽しみにしている様子が伝わってきます。

人気メニューは、1位子キンドリア、2位ラーメン、3位鶏肉の唐揚げです。

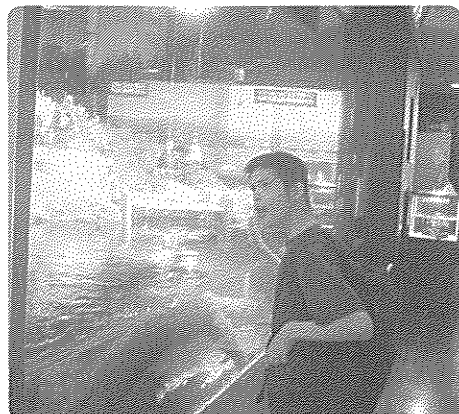
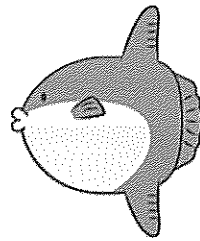




「夏休みだ!」

福祉指導員 佐々木 志穂

今年の夏休みは、療育班なぎさユニットは二グループに分かれ、園外活動を実施しました。行先は魚津水族館、黒部市地域観光ギャラリーでした。子どもたちは園内での活動とはまた異なった非日常的な体験を通じ、思い思いにおでかけを楽しんでくれたように思います。



# スポーツ活動について

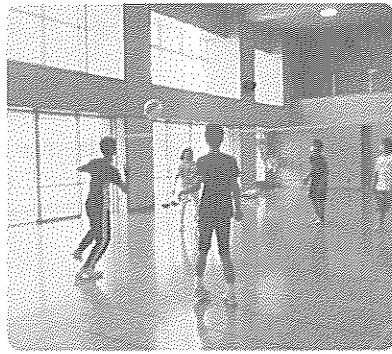
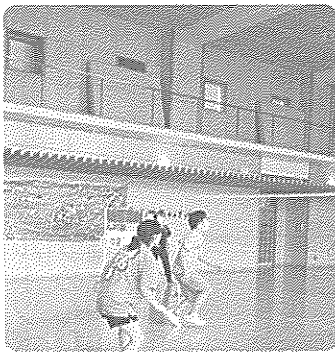
福祉指導員 柴野 栞子

黒部学園では、週に5日程度スポーツ活動を行っています。4月からはソフトボールやマラソン、ビーチボールバレーをメインに取り組んできました。

今年の5月には黒部名水マラソンに参加し、5キロを完走した児童もいます。

マラソン大会に出るまでの期間、子どもたちは大会当日に自分のもっている力を出せるようタイムを計りながらの走り込みを行ってきました。練習中は子どもたち同士が励ましあったり、応援したりする姿がみられ、子どもたちがお互いを気にかける切磋琢磨し、自分の力を伸ばしている様子が伺えました。

また、ソフトボールやビーチボールバレーでは「どんまい」「失敗しても大丈夫だよ」という声掛けがよく聞かれます。ある子どもは、ビーチボールバレーをしているときに「一人でできるスポーツじゃないんだから皆がやりやすい雰囲気を作らない」と話していました。子どもたちはスポーツを通して、各競技の技術だけでなく、相手を思いやり大切にしたりする気持ちも学んでいます。



# もしものために…

福祉指導員 深堀 有理

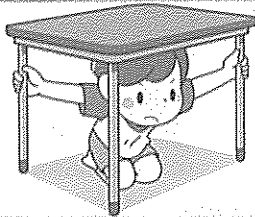
毎月1回避難訓練を実施しています。

その時によって日中の想定、夜間の想定、出火場所や避難場所を変更して訓練しています。

過去には大きな音が苦手で、非常ベルの音にびくりにして、バックになり、突然のことに行動の切り替えができず避難できないことも…。

そんな彼らも訓練を繰り返したおかげで、今はスムーズに避難することができるようになりました。

夏休み中は津波を想定した訓練も実施しました。



ユニットの非常口から外に出て支援学校へ、非常階段を上って高等部2階の指定された教室に避難します。屋外の階段、そして普段階段の上り下りをしないこともあり、特に年少児童は「階段こわい」「先生をつないで」とドキドキしながらも訓練に参加しました。

「もしもの」ときの訓練です。しているとしていないでは、いざと言うときにやはり違いがでると思います。一回一回を大切に、児童も職員も臨機応変に対応できるように今後も訓練していきます。



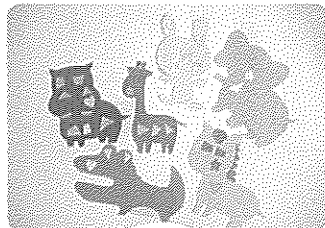
# 夏休みの調理実習



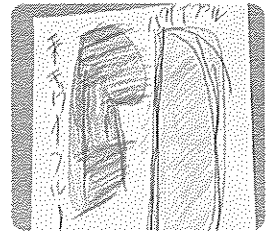
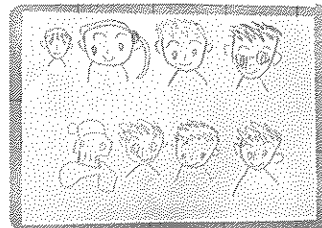
手作りおやつでホットケーキ・かき氷・フルーツポンチ・水だんご、調理実習でバーベキュー・そうめんなどを作りました。

## ～療育班作品と作品づくり～

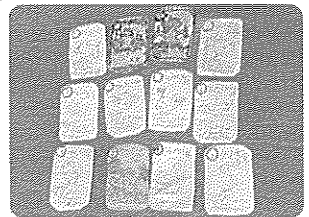
夏休み中にみんなで両手を使って色を塗ったり、動物のパーツを貼ったりしました。



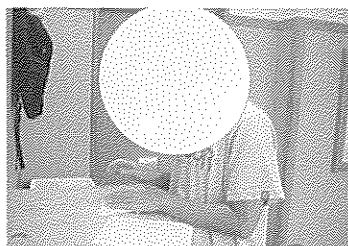
## ～育成班作品～



友達や先生、好きな果物を描きました。みんなで遊べる手作りカードも作りました。



## ～作業・お手伝いの様子～



丁寧に紙折りをします。



洗濯物を運びます。





夏休み中に  
誕生日を  
むかえました!



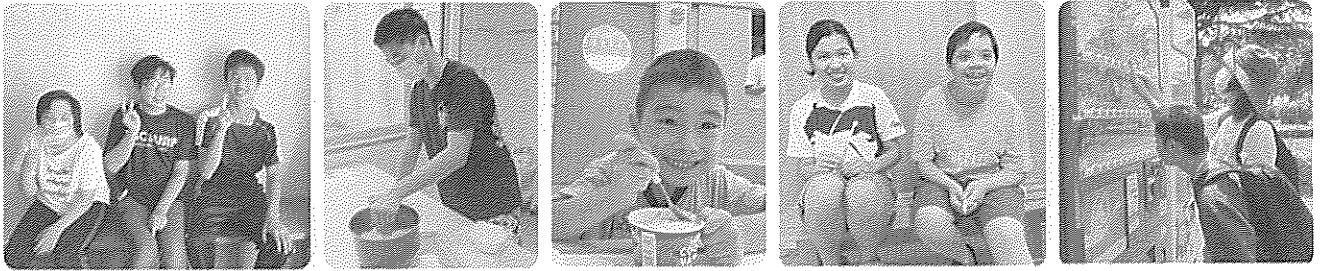

# ズームアップ

## プール





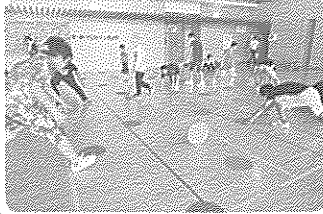
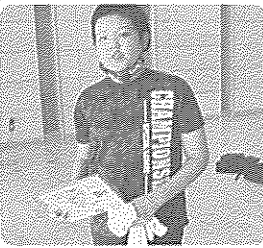


夏はやっぱりプール  
だよな~!!



### みんなであそぼう

みんなて  
しゃぼん玉や  
かりもの競走、  
宝さがしゲーム  
などを  
しました。

休みを利用して  
じっくり工作や  
制作を  
たのしみ  
ました

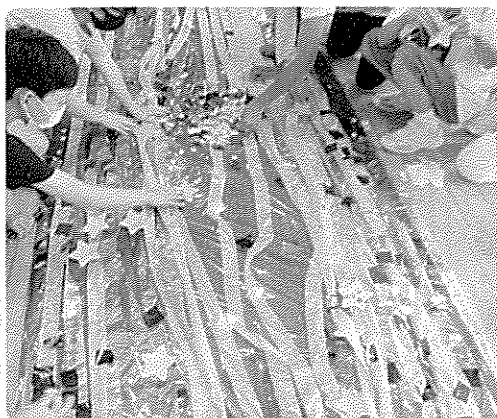








**児童会サマーフェア**

今年の児童会サマーフェアは、みんなで大きな天の川を作りました。星をちりばめて、本物のお星さまに負けないくらいキラキラ輝いています。サマーフェア恒例のアイスクリーム、今年も最高においしかったです！



～ 黒部学園web講演会のご案内 ～

実施期間：令和4年12月6日(火)～令和4年12月19日(月)

※上記の期間、YouTubeにて講義内容を動画配信(限定公開)します。

講演内容：演題：「発達障害のある子どもの行動症の問題への対応

応用行動分析からのアプローチ」

講師：井上 雅彦氏(鳥取大学医学系研究科教授)

対 象：障害児(者)の保護者、障害児(者)関係事業所職員(保育士・支援員等)、特別支援教育関係者等

※受講料は無料です。受講申込については黒部学園地域支援室までお問合せください。

編集後記

例年より早い梅雨明けとなり、今年こそ楽しい夏休みになるかと期待していましたが、新型コロナウイルス感染症の第7波の急拡大…

再び行事の縮小や延期、帰省・外出・面会の制限が続きましたが、子どもたちは暑さにもコロナにも負けず、暑い夏を乗り切りました。

お手元に届くころは秋となりますが、この夏の思い出の一部をご覧いただき、今後も温かく見守っていただくと幸いです。

～善意を寄せてくださった方々～

・富山県農林水産総合技術センター  
園芸研究所果樹研究センター

(令和4年7月から  
令和4年9月末まで)

(敬称略)

